

総会・懇親会

にぎやかに



東京本別会 事務局長

横川 義洋

猛暑の7月、NHKの画面に「北海道本別町36度全国2番目の気温」の文字を見つげびっくりしました。故郷を離れ半世紀超、町の様子とともに気候もまた随分変わっているものだと感じさせる一コマでした。

本別という小さな町から首都圏に移り住んだ同郷の人の多くが還暦や古希を迎え、東京本別会の会員も年々高齢化が進んでいます。まだまだ健在で各方面で活躍されている方も多くその奮闘ぶりには頭の下がる思いです。

今年はそのような会員の皆様と2年に一度お会いできる総会・懇親会の開催年にあたり、去る6月にアルカディア市ヶ谷に50余名の出席を頂き、旧交を温めたりふるさとの思い出話を花を咲かせる時を持つことができました。

町からも、高橋町長、方川議長、大和田課長、三品課長補佐がお越し下さり、また来賓として同じ旧池田北線沿線の池田会、足寄会、陸別会の役員さん、サッポロビール、十勝毎日新聞社にもご臨席頂きました。更には、中学時代を本別で過ごされた縁で会員になって頂いた岩田公雄様もお忙しいなかご出席下さり、お話をさせて頂くことができました。

故郷の近況を伝えるビデオの紹介や、役場の提供によるふるさと産品のお楽しみ抽選会で会場は大いに盛り上がり、2時間半の時があつという間に過ぎてゆきました。

前回出席され、今回は体調を崩されて欠席という方もかなりおられました。初めて出席して下さったご夫妻や若い会員も複数いらっしゃり、役員一同あらためて、会の活動を今後もしばらく継続してゆかなければとの思いを持った1日でした。

ボウリング自慢

東京常呂会 会長

馬淵 照男



ふるさと会活動の重要な行事として取り組んできました2つの親睦ボウリング大会が、今年いずれも10年を超える活動を重ね、且つ参加者も過去最高を更新いたしました。

まず今年の2月に第11回大会を迎えた北見市ふるさと会親睦ボウリング大会。この大会は、北見市からの協賛を頂く、北見市長杯争奪戦でもあります。東京北見会、在京端野会、東京るべしべ会、そして東京常呂会の北見市内4つのふるさと会が共催しております。個人戦と団体戦を戦いますが、なんとこれも自慢は景品の多さと個人では同じ人の優勝が過去1度もなく、毎回優勝者が変わることです。ハンデ

イキャップ制といっている賜物と思っております。今1つは、この7月に第10回を迎えたばかりのオホーツクふるさと会連合会親睦ボウリング大会です。旧網走支庁管内の15のふるさと会で構成され、今年も北海道ふるさと



会連合会様からのご参加を頂き、ゲーム参加者132名、懇親会のみのお席者を加えると140名を超える大盛況の大会となりました。

ふるさとの魅力

北海道森町ふる里の会 会長

山形 威文



2014年6月、「森小町」の最後の1本が枯死し絶滅しました。「森小町」は、ソメイヨシノと町固有の「堀井緋桜」を交配させた品種で、紅色の花弁の濃淡が1枚1枚異なっているのが特徴で、他の固有種の「駒見桜」「青葉枝垂」と共に貴重な桜として親しまれていました。1年後、絶滅したと思われる

「森小町」が茨城県内に持ち出され命を失った。1年後、絶滅したと思われる「森小町」が茨城県内に持ち出され命を失った。

また、いつもふるさと会に親身にご指導、ご協力を頂いている日本女子プロ第1期生の並木恵美子プロが、女子プロとして初めて殿堂入りを果たされました。大変ありがたく、おめでたいことと、皆で喜びを分かち合っております。

回を重ねるたびに会員の方々の円熟味も増しております。身体が続く限り、気力のある限り、ボウリングを通して会員相互の懇親を図ってまいります。

をつないでいることが分かり譲り受け、元の場所に移植したところ紅色あでやかに花を咲かせてくれました。当町は、桜が町の花として制定されている桜の名所で、桜祭りの期間中は20品種以上の桜が咲き競う華麗さは10万人を超える花見客を和ませています。

道内の町で唯一、「ちよう」ではなく「まち」と呼ぶ当町の基幹産業は、海・大地及び森の恵みです。四季を通しての魚の水揚げの他「耳つり」という漁法で養殖したホタテは北海道を代表し、当町発祥の「いかめし」は全国駅弁大会等で常にトップの人気を誇っています。糖度が高く、栗のようなホクホク感に人気がある「みやこ」かぼちやは首都圏でも好評です。また、森林が町面積の8割を占めることから木炭の生産が盛んで、「駒が岳木炭」は広く知られているところです。

故郷は、遠く離れて異郷にお住いの方々にとっては、「心の拠り所」と言えましよう。そんなふる里の魅力は一言では語れません。是非、五感で感じ取って頂きたいものです。

銀座で創業40年、都心の不動産のことならお任せを!

不動産の売買・仲介・管理・ご相談承ります

株式会社 八千代商会

代表取締役 堀川 哲夫 (東京白老会・副会長)

公益社団法人
東京都宅地建物取引業協会会員
都知事免許(10)42450

〒104-0061
東京都中央区銀座3丁目11番7号
電話 03-3545-1466 (代)
FAX 03-3546-3860

長い間有難うございました

総務部会 前副会長

三村 寿雄

紙面をお借りして、私三村寿雄(北海道道南会)は、今回の総会にて一身上の都合で当連合会の副会長退任の承認を頂きました。思い返せば平成9年15代曾我会長、16代北山会長の下4年間事業部会理事、20代伊野会長の下事業部会理事、21代森会長の下総務部会理事、22代高橋会長の下総務部会副会長と都合12年間会員の皆様関連企業・団体の皆様には温かいご支援・ご協力を賜りました事厚くお礼申し上げます。私人生の大きな財産です。今後も連合会が「更に多く、更に良い会」となりますよう協力応援していきます。